

国語科 学習指導案

1. 単元(題材)名 「短歌の世界／短歌十首」(三省堂)

2. 単元(題材)について

(1) 単元(題材)の目標

- ・短歌の表現を根拠に創作したショートストーリーづくりを通して、作品の情景や心情を想像しながら短歌を読み味わうことができる。 読むーア・ウ

(2) 指導計画(全4時間、本時は4時)

過程 (時間)	主な学習活動	単元構想の意図、指導方針等
つかむ (1)	<p>○情景や心情を表す言葉に着目しながら短歌のショートストーリーづくりをする学習への見通しをもつ。</p> <p>・「短歌の世界」を読み、短歌の特徴を知る。</p> <p>・二首の短歌についてショートストーリーづくりを体験する。</p>	<p>本単元では、物語文で学んだ心情や情景の読み取りを活用し、自分が選んだ短歌のショートストーリーづくりを通して、想像力を働かせて読む楽しさを実感させる単元を構想した。その際、自由な創作文ではなく、短歌の表現を根拠にして自分の考えをまとめることで、作品の情景や心情を表す語句に着目させながら、主体的に短歌を読み味わう生徒の姿を目指したい。</p> <p><つかむ過程>では、短歌の基礎的な知識、技法など、三十一文字の中に込められた情景や心情を表現している語句の効果に着目させたい。また、「短歌の世界」で挙げられた二首の短歌について自由に情景や心情を想像させながらショートストーリーづくりの体験をさせたい。同じ短歌でも友達によって色々な物語があることを楽しませたい。</p>
追究する (2)	<p>○短歌十首から気に入った短歌を選び、情景や心情についてまとめる。</p> <p>○選んだ短歌について、作者の表現の工夫とその効果を関連付けて短歌の魅力を伝えるショートストーリーを創る。</p>	<p><追究する過程>では、「短歌十首」の中から一首選び、前時で学んだショートストーリーを活用して、短歌の言葉や表現に着目しながら、情景や心情をふまえた自分のイメージしたストーリーを文章でまとめる。その際、選んだ根拠を明確にして、自分の選んだ短歌の魅力を他の友達に伝えるように工夫する。</p>
まとめる (1)	<p>○短歌のショートストーリー発表会を開き、考えを交流する。</p> <p>○本単元の学習を振り返る。</p>	<p><まとめる過程>では、「短歌十首」のショートストーリー発表会を行う。まず、同じ短歌を選んだ者同士のグループで、短歌のショートストーリーを発表させる。その際、創作の根拠となる言葉や表現に着目した発表をさせたい。また、グループで選んだ根拠を明確にして代表を決めさせる。その発表を聞くことで、自分の作品と比べながら短歌を味わうことについての振り返りをさせる。</p>

3. 本時の学習

- (1) 本時の目標 短歌のショートストーリー発表会を開いて、考えを交流する。
 (2) 準備 短冊 ワークシート
 (3) 展開

過程 (時間)	主な学習活動	指導上の留意点及び支援
つ か む (5分)	1. 前時の復習をする。 ・短歌の特徴を押さえる。 ・発表会の仕方を確認する。	・「言葉が短い分、想像力を働かせて読むこと」を押さえる。
	めあて 短歌のショートストーリー発表会で考えを交流しよう	
追 究 す る (40分)	2. グループで第1次発表を行う。(15分) ①グループで順に「選んだ短歌」「ショートストーリー」「物語の根拠となった言葉や表現」を発表する。 ②聞いた人から感想や質問を出し合う。 ③グループで一番よいと思う短歌のショートストーリーを選ぶ。 3. 全体で第2次発表を行う。 ①各班で選ばれた代表が短歌とショートストーリーと物語のできた根拠を発表する。 ②自分がよいと思う短歌のショートストーリーについて考えをまとめる。	・グループで1人およそ3分程度で発表する。 ・発表後、選択のための話合いをもち、グループで選んだ根拠を明確にさせる。 ・一番よいと思うショートストーリーを選ぶ観点として、「イメージした根拠」が明確かつ納得できるものを選びさせる。 ・グループごとに選んだ理由(推薦者)と代表者の発表を行う。(20分) ・自分のよいと思うショートストーリーを根拠を明確にして選び、簡単な文章で考えをまとめるようにする。(5分)
ま と め る (5分)	4. 振り返り ・ショートストーリーづくりを通して学んだ短歌のよさをまとめる。	・今まで学んできた学習を振り返り、短歌のよさについて自分の学びを振り返る。

【評価項目】

- おおむね満足 短歌の言葉から簡単な物語ができ、情景や心情を想像できる。
 ◎十分満足 短歌の物語ができた根拠を表現と関連させて考えることができる。
 (観点・評価方法) (読む・ワークシート・発言)